

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ミクシード習志野鷺沼		2025年3月20日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	・職員の規定人数以上に配置されているため、こども一人辺りにかけられる時間も多と思われる。	・職員に体調不良などあった時には、対処が厳しい。逆に急な利用キャンセルが多い為、配置が多くなる事がある。 ・専門職、特にSTは支援の幅が広がる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		・室内で野球やサッカーができるほどの広いスペース。のびのびと過ごすことができるが、その分必要な清掃量が多い。 ・子どもが入れるところはもう少し綺麗にした方がいいと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	・スペースが十分に確保されているため、必要に応じてパーティションなどで区画整理し個別スペースが確保できる。 ・トラブルがあった際のクールダウンとして個別の部屋を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・毎月ミーティングを行い、振り返りや改善案の話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・月1でのミーティングや個人面談の機会を設けており、業務改善点の共有や相談が行えている。 ・毎月ミーティングを行い、振り返りや改善案の話し合いをしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%		・行っていない ・第三者による外部評価を受ける機会が少ない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・定期的に法人内研修会を行っている。上長から従業員にセミナーの案内があり、参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・支援者の主観だけにならぬよう様々な視点から計画を作成する事に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		・もっと共有出来るとより良い支援へと繋がる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントはすべての職員に正しい知識が必要であるため、観察評価からの意見を職員間ですり合わせし、各目標に対してのアセスメントを行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	・プログラム実施記録を録り、段階的な活動となるよう計画を組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%		・以前は昼休み後を使い、全体での打ち合わせを行っていたが、今は行われていない。各々が自身の役割を把握しているからと思われるが、他職員が当日どのように動くか把握するためにも、行っていた方が良いと思われる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%		・送迎の関係上、当日に行うのは難しい。気付いた点などは社内SNSを使い、職員全体に情報共有を継続したり、翌日に当日の打ち合わせと同じタイミングで話すのも良いと思われる。 ・自然と話し合いにはなるが、時間の関係で、出来ないこともあり、徹底して行うようにしたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%		・個人的に支援の検証が足りないと感じる
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	67%	33%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	83%	17%	・「地域交流の機会」は頻度としては少ないが、その他の活動については日々、自然に行われている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・主に送迎時に学校側と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17%	83%	・保護者様より共有いただいている	・就学前から利用契約を行っている事例が少ないこともあり、園との関わりが少ない。また、低学年期の変化が大きく情報の鮮度に欠けるため、園との情報共有は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%		・交流先や地域が開かれているとは実感できない。自事業所だけではどうにもならない事もある。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
35	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	33%	67%		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・家族支援では保護者との共有ができていると思う。 ・電話、メール、訪問等様々な方法で共有を行い、鮮度の高い支援を行うようにしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	・保護者会にて家庭内での困り事や進路選択について保護者同士で話し合う機会を提供。 ・ペアトレや研修といった機会は今のところ設けていないが、保護者同士の交流の場を提供したことはある。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	67%	33%		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83%	17%		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	83%	17%		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・送迎時の時間を活用し、対応することが多い	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	・任意での参加となるがニーズや困り事を共有したり、私たちにとっても把握する機会ともなっており、今後も定期的に開催したいと思います。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・今年度から紙面での配布からメール配信に切り替え。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	・個人情報保護の観点から地域住民を招いての事業は行っていない。 ・地域の祭りへの参加等、出向くことはあるが招くことはないので、どんなやり方があるのか知りたい。	・機会の提供について保護者へアンケートを実施します。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%		・お便り等でより周知を広められると良い。 ・マニュアルは整備されているが、周知が弱い。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	50%	50%		・防災訓練を行った方がいいと感じる。 ・直接支援を優先する為、実施のタイミングが予定と変わる事がある。プログラム自体に組み込む等して実施、周知に努める。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・契約時や状況の変化に応じて聞き取りや説明を実施している。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	83%	17%	・契約時や状況の変化に応じて聞き取りや説明を実施している。	・医師の指示書に見覚えはないが、職員全体で子どものアレルギーを把握し、それが含まれる物は提供しないようにしている。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%	・契約時や状況の変化に応じて聞き取りや説明を実施している。	・直接支援を優先する為、実施のタイミングが予定と変わる事がある。プログラム自体に組み込む等して実施、周知に努める。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%	・契約時や状況の変化に応じて聞き取りや説明を実施している。	・お便り等でより周知を広められると良い。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	67%	33%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	67%	33%		・身体拘束が必要な児童はいらっしゃらないが、委員会と連携し決定します。